

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 23 年 9 月 12 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	協同組合いわき材加工センター勿来工場における木材乾燥用重油ボイラーから木屑焚きボイラーへの転換による排出削減事業
承認番号	JCDM-PJ0050
排出削減事業者名	協同組合いわき材加工センター
排出削減共同実施事業者名	東京電力株式会社
事業実施場所	勿来工場（福島県いわき市勿来町窪田道作 33 番地）
事業の概要	木材乾燥用ボイラーを A 重油焚きボイラーから木屑焚きボイラーに転換する事により、CO2 排出量を削減するとともに、廃棄物（木屑）の有効活用を推進する。
排出削減量の計画	790 t CO2/年（事業実施期間合計 3,025tCO2）
国内クレジット認証期間	開始日 2009 年 6 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日（第 2 回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	1,128tCO ₂ (2010年4月1日～2011年3月31日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) 承認済み排出削減事業計画に従い、既存重油ボイラーより木屑ボイラーへ更新する事業が実施されていることをエネルギー使用実績により確認した。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間における自社発生木屑材使用実績や木屑ボイラー運転日誌により確認した。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、ボイラー設置届や事業者への質問により確認した。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法については、承認事業計画に従って、生成熱量がボイラー給水量、フロー率(水質分析)、給水温度、缶蒸気圧を基に集計・算定されていることを確認した。 2) 給水量については、月報の担当部署責任者の管理の下、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。 3) 排出削減量の算定式及び使用されている排出係数等が排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、算定結果が正確であることを確認した。

	<p>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</p> <p>5)その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと	本実績確認の対象期間は、2010 年 4 月 1 日から 2011 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。

5 . 特記事項

確認した排出削減量（クレジット量）に相当する再生可能エネルギー利用量については熱量換算で 14,200GJ であることを確認した。

以上